

中長期的課題と対応(案)

1. 制度関係

- 本格運用開始後の課題抽出とそれを踏まえた制度修正(要すれば)
- OBD検査対象装置の拡充(令和6年度内に検討・結論)
- OBD検査不合格車の整備体制の拡充(→自動車整備技術の高度化検討会)
- OBD確認の実施促進のためのインセンティブの検討
- OBD検査適合時に省略可能な検査の検討
- 欧州等で導入が検討されているISO20730をベースとしたe-PTIとの整合

2. システム関係

- 「OBD検査システム」と「検査用スキャンツール」のアップデート等に関する関係者連携
 - ・ Windowsアップデート時への対応
 - ・ ユーザーへの周知ルール
 - ・ 検査用スキャンツールのISO13400への対応
- 特定DTC照会アプリと検査用スキャンツールのAndroid対応、スマホ対応
- その他システムの使用性に係るユーザー意見・要望を踏まえた定期的なシステム更新
 - ・ OBD検査システムと他システムの連携可能性
(OBD検査未了状態での電子保安基準適合証の登録防止機能など)

3. 周知・公表関係

- 整備事業者(新規事業者や新任検査員を含む)へのOBD検査関係ルール等の継続的な周知
- 自動車ユーザーに対する継続的な周知
- 本格運用時におけるFAQ、トラブル情報の公表
- 認証工場におけるOBD確認の実施促進
- OBD検査の不適合事例・割合の収集・公表

4. その他関係

- 「検査の合理化」の可否を判断する際に参考とする自動車の技術情報の提供
- 輸入車のOBD検査開始(令和7年10月~)
- 検査対象車両増加時における各検査場でのスムーズな検査実施